

【書評】

オンラインの集中治療に特化した 集中治療医の武器になる教科書

“Civetta, Taylor, & Kirby's Critical Care, 4th ed.”

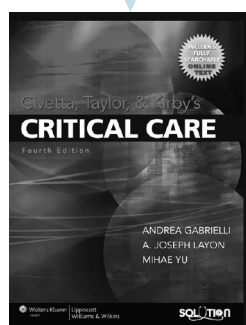
Author : Andrea Gabrielli, A. Joseph Layon, Mihae Yu

“Civetta, Taylor, & Kirby's Critical Care” は、1988年に初版が発行されてから、現在で4版を数える、内科系ICU・外科系ICUのあらゆる問題をカバーする定評ある教科書である。この第4版では、新たに30を超える章を追加したばかりか、現代に即したコンピュータアクセスを可能にしている。一度ユーザー登録をしておけば、どこからでもオンラインアクセスができるようになっている。

編集は、麻酔集中治療専門医と外科集中治療専門医の3人が行っている。全部で178章と、1つの章を細切れにすることにより、読者にとって非常に検索しやすくなっている。また、座る暇もなく働く、重症患者を診ている医師にとって、本書の内容をオンライン検索できることは、とても魅力的である。

第4版で新たに追加された章は、集中治療での経済的側面、協力的な治療、意思決定、不幸な知らせの告知、集中治療の質と安全、コンピュータと遠隔集中治療操作、皮膚のケアと褥瘡の予防、遺伝子、感染の世界的流行、トリアージ、災害への対応、バイオテロリズム、倫理などである。日進月歩で情報が更新されている領域も十分にupdateしていることがうかがえる。

編集者の1人であるYuは、評者がハワイ大学で研修中、直接指導を受けた外科集中治療専門医



Lippincott Williams & Wilkins
ISBN : 978-0-7817-6869-6
2009 年
2765 ページ/ハードカバー
35,290 円

である。そこは、ハワイで唯一の外科集中治療プログラムがあるため、臨床経験が豊富である。臨床医に必要と思われる分野を適切に選んだ結果、このような新たな章が追加されたものと推測できる。集中治療の3大テーマである人工呼吸器、septic shock、急性腎傷害に関しても第一人者によって書かれている。2色刷りで、図表が比較的少ないこともあり、教科書自体はボリュームが多すぎて読みづらい。しかし、オンラインであれば、検索で項目を絞って読むことができるので、その難点はほとんど気にならない。

文献も2008年のものまで含まれており、第3版からのupdateもきちんとされている。さらに、[Medline Link], [CrossRef], [Fulltext Link] にハイパーリンクしており、施設で契約していれば、必要な文献をダウンロードもできる。このハイパーリンク機能がまだ十分でなく、リンクしないことや、ハイパーリンクがかかっていない文献も多々あるのが残念ではあるが、今後の早期の改善を期待したい。

多々あるオンラインの集中治療に特化した教科書の1つとして、集中治療を専門としている後期研修医から指導医クラスまで幅広く読み、日常臨床の助けとなる良書として強く推奨する。

藤谷 茂樹 (聖マリアンナ医科大学 救急医学)